



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 関西ペイント株式会社

コード番号 4613 URL <http://www.kansai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石野 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 浅妻 慎司

TEL 06-6203-5531

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	244,736	△1.9	26,211	3.5	29,636	△0.3	18,574	11.2
28年3月期第3四半期	249,387	△1.9	25,336	18.5	29,720	13.4	16,707	21.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 16,289百万円 (339.9%) 28年3月期第3四半期 3,702百万円 (△87.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	71.43	62.41
28年3月期第3四半期	62.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	522,882	278,844	46.3
28年3月期	430,198	293,903	59.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 241,986百万円 28年3月期 255,238百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.50	—	9.50	19.00
29年3月期	—	11.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	3.6	36,500	5.0	42,000	5.8	25,000	△11.8	96.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	272,623,270 株	28年3月期	272,623,270 株
29年3月期3Q	15,284,889 株	28年3月期	6,268,153 株
29年3月期3Q	260,044,362 株	28年3月期3Q	266,363,510 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国における経済政策の変化、新興国経済の先行き不安、地政学的リスクの影響等が懸念されましたが、緩やかに回復しました。わが国経済は、設備投資は持ち直しの動きに足踏みが見られますが、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの連結業績につきまして、国内は、消費の本格的回復にはいたらず塗料需要は伸び悩み、売上は前年を下回りました。一方で、トータルコスト低減に努めた結果、利益は増加しました。海外は、インドにおいては、引き続き国内経済の伸長が続き業績は拡大しました。しかしながら、アジアにおいては、中国で自動車生産の回復、インドネシアでは景気に持ち直しの動きが見られるものの、アジア全体の塗料需要は本格的な回復にはいたらず、業績は低調に推移しました。アフリカにおいては、南アフリカ及び近隣諸国経済の低迷や通貨安に伴う原材料価格の高騰等の影響により、業績は前年を下回りました。その他セグメントにおいては、トルコにおいて業績回復の動きが見られるとともに、昨年連結化したアメリカ合衆国子会社の業績が寄与し、セグメント全体の業績は前年を上回りました。また、海外全般において、為替換算の影響を大きく受けました。これらの結果、海外全体での業績は前年を下回りました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は2,447億36百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は262億11百万円（前年同期比3.5%増）、経常利益は296億36百万円（前年同期比0.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は185億74百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

このほか、2016年12月には、欧州塗料メーカーHELIOS GROUPの株式を取得し、子会社化することとしました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

#### 《日本》

自動車分野は、新車用分野では当累計期間における自動車生産台数は昨年並みとなり、売上は前年並みを維持しました。工業分野、船舶分野及び防食分野においては市況の低迷により、売上は前年を下回りました。建築分野においても、市況の本格的回復にはいたらず、売上は前年を下回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販継続に努め、売上は前年並みを維持しました。これらの結果、当セグメント全体の売上は前年を下回りました。このような状況のなか、為替差損の影響があったものの、原材料コストの低減を始めとするトータルコスト低減に努め、利益は増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,127億12百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益は169億24百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

#### 《インド》

高額紙幣廃止による需要の一時的な減少の影響があったものの、引き続き国内経済の伸長は続きました。自動車分野では自動車生産台数の増加が続き、建築分野においても、高額紙幣廃止により需要拡大ペースが一時的に鈍化したものの、売上の伸長がなお続きました。また、原材料価格も安定的に推移し、業績の拡大に寄与しました。しかしながら、円貨ベースでの業績については、為替換算による押し下げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は561億73百万円（前年同期比4.0%増）、経常利益は88億29百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

#### 《アジア》

中国においては、一昨年後半に始まった小型車への優遇税制の導入等もあり、自動車分野での売上伸長が続きましたが、その他の分野の売上は低調に推移した影響を受け、中国全体での当期累計期間における売上は前年を下回りました。一方、ローカル自動車メーカー向けのシェア拡大及び新規需要の獲得もあり、持分法投資利益は増加しました。インドネシアにおいては、自動車生産の回復に加え、建築分野においても国内経済が回復し、売上、利益ともに前年を上回りました。タイにおいては、自動車生産の本格的な回復にはいたらず、需要低迷が続き、売上は前年を下回りました。また、2016年10月に連結子会社化した、マレーシアの、SANCORA PAINTS INDUSTRIES SDN. BHD. の業績を今期より連結業績に取り込みました。このほか、為替換算の影響も受け、アジア全体での業績は低調に推移しました。なお、加えて、インドネシアの、PT. KANSAI PRAKARSA COATINGS他ののれんの償却を引き続き計上しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は417億10百万円（前年同期比2.1%減）、経常利益は49億40百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めたものの、当累計期間における売上は前年を下回りました。また、南アフリカランド安による原材料コストの高騰、販売促進費投入等の影響及び一過性費用の発生が収益を大きく圧迫し、業績は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は202億36百万円（前年同期比15.8%減）、経常損益はのれんの償却を含め、経常損失25億66百万円（前年同期比 - %）となりました。

《その他》

トルコでは、トルコリラ安による原材料価格への影響等もありましたが、自動車生産の増加及び販売活動促進の取組により、売上は増加し利益も回復基調が続きました。一方、北米での自動車生産は堅調に推移したものの、競争の激化等により持分法による投資利益は減少しました。このほか、2016年8月に連結子会社化した、アメリカ合衆国の、U. S. PAINT CORPORATIONの業績を今期より連結業績に取り込みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は139億3百万円（前年同期比6.9%増）、経常利益は15億8百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、5,228億82百万円となり、前連結会計年度末と比べ、926億84百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金、投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,440億38百万円となり、前連結会計年度末と比べ、1,077億43百万円の増加となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の発行によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,788億44百万円となり、前連結会計年度末と比べ、150億59百万円の減少となりました。これは、主に自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2016年5月13日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 2016年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(欧州塗料メーカー Helios Groupの株式取得)

当社は、2016年12月6日の当社取締役会において、欧州の塗料メーカーHelios Group各社の持株会社である Annagab S.A. (本社：ルクセンブルク)の全株式を、同社の株式を保有するRing International Holding AG (本社：オーストリア、以下「Ring」)その他の株主より取得し子会社化(以下「本件取引」)することを決議し、株主との間で株式譲渡契約を締結いたしました。

#### 1. 株式取得の理由

当社は、現在、推進中の中期経営計画において、グローバル化の加速を重点施策として掲げ、既存市場での事業拡大、強化に加え、新規市場、分野への参入を積極的に進めることとしております。

その中で、欧州市場は成長が期待されるとともに、原材料の調達など、当社グループの事業競争力向上におけるシナジー創出に寄与する期待の高い重要な地域と考えております。

Helios Groupは、西欧を中心に塗料事業を展開していたRingの塗料事業と、中東欧・ロシアを中心に展開していたスロバニアの塗料メーカーHelios Domžale Groupが2014年に同じグループになることにより誕生した工業塗料分野に強みを持つ塗料メーカーであり、現在、中東欧、西欧、ロシアなど欧州各国で事業展開を行っております。

今回の株式取得は、当社グループの欧州市場への本格参入の第一歩となるとともに、取得した事業基盤を今後の欧州事業拡大に向けたベース拠点として活用し、さらには次のような取り組みを進めることにより、一層の業績向上に寄与するものと考えます。

- ・ 欧州各国およびロシアなど多国間にまたがる事業を束ね、収益力ある事業構造を創り出してきた卓越したマネジメント力の活用
- ・ 優れたR&D機能、生産拠点、流通基盤の欧州・ロシア市場などでの更なる事業拡大への活用、ならびに新たな地域・事業分野での展開にあたる活用
- ・ 今後、需要拡大が期待されるモーター向け塗料や大手鉄道車輛メーカー向け認証製品など、高い競争力を持つ製品群・技術のグローバル活用
- ・ 両社グループの有する製品や技術、ノウハウなどの相互補完・共有によるシナジー創出

従って、本件取引は、当社グループの中長期的な業績拡大に加え、当社株主にとっての価値向上に寄与するものと考えております。

2. 取得対象子会社の概要

(1) 会社名および所在地

Annagab S.A. ルクセンブルグ

(2) 事業内容

塗料の製造・販売事業を行うHelios Group各社の株式保有

(RingによるHelios Domžale Group買収のために2014年1月に設立された持株会社)

(3) 直近業績

2015年度の連結実績は以下の通りであります。

売上高 386,886千ユーロ

営業利益 34,313千ユーロ

3. 株式取得の内容

(1) 株式取得の相手先

Ring及びその他株主

(2) 取得する株式の数

34,066株

(3) 取得価額

572百万ユーロ(約701億円)

(注) 取得対価は、株式取得の対価に加え、新株予約権の対価、ネット有利子負債を含みます。また、取得対価は株式譲渡契約に定める株式取得実行時の価格調整を実施した金額となる予定です。

なお、換算レートは1ユーロ=122.70円です。

(4) 取得後の持分比率

100%

4. 支払資金の調達方法及び支払方法

自己資金により充当する予定としております。

5. 日程

(1) 株式譲渡契約締結日 2016年12月6日(現地時間)

(2) 株式譲渡実行日 2017年3月頃(予定)

6. 業績に与える影響について

本件取引が、当社グループの連結業績に与える影響につきましては、内容が確定次第、必要に応じ、適切に公表いたします。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,309	129,145
受取手形及び売掛金	91,544	96,847
有価証券	8,536	10,135
商品及び製品	25,768	26,059
仕掛品	3,728	4,137
原材料及び貯蔵品	13,677	15,145
その他	10,890	10,417
貸倒引当金	△1,221	△1,924
流動資産合計	225,232	289,965
固定資産		
有形固定資産	90,024	87,666
無形固定資産		
のれん	7,657	11,174
その他	11,797	12,230
無形固定資産合計	19,454	23,404
投資その他の資産		
投資有価証券	69,358	96,065
その他	28,250	27,859
貸倒引当金	△2,120	△2,077
投資その他の資産合計	95,487	121,846
固定資産合計	204,966	232,917
資産合計	430,198	522,882



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,667	55,627
電子記録債務	1,342	1,836
短期借入金	3,907	6,799
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	3,631	866
賞与引当金	4,407	3,236
その他	20,054	21,309
流動負債合計	102,010	104,675
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	101,749
退職給付に係る負債	8,503	8,736
その他	25,781	28,877
固定負債合計	34,284	139,363
負債合計	136,294	244,038
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	18,896	14,421
利益剰余金	200,096	213,291
自己株式	△5,077	△25,085
株主資本合計	239,574	228,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,424	33,215
繰延ヘッジ損益	-	△58
為替換算調整勘定	△10,545	△20,048
退職給付に係る調整累計額	785	590
その他の包括利益累計額合計	15,664	13,699
非支配株主持分	38,665	36,857
純資産合計	293,903	278,844
負債純資産合計	430,198	522,882

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上高	249,387	244,736
売上原価	168,197	161,837
売上総利益	81,190	82,899
販売費及び一般管理費	55,854	56,688
営業利益	25,336	26,211
営業外収益		
受取利息	232	681
受取配当金	1,613	1,411
持分法による投資利益	3,315	3,228
雑収入	782	962
営業外収益合計	5,943	6,283
営業外費用		
支払利息	334	689
社債利息	63	63
たな卸資産廃棄損	156	128
為替差損	452	1,447
雑支出	552	528
営業外費用合計	1,559	2,858
経常利益	29,720	29,636
特別利益		
固定資産売却益	24	137
関係会社株式売却益	-	0
投資有価証券売却益	1	812
特別利益合計	25	951
特別損失		
固定資産除売却損	824	124
投資有価証券売却損	139	-
投資有価証券評価損	20	0
特別損失合計	984	124
税金等調整前四半期純利益	28,760	30,463
法人税等	8,814	8,841
四半期純利益	19,946	21,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,238	3,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,707	18,574

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期純利益	19,946	21,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,573	7,157
繰延ヘッジ損益	-	△58
為替換算調整勘定	△13,586	△10,778
退職給付に係る調整額	△26	△194
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,056	△1,458
その他の包括利益合計	△16,243	△5,332
四半期包括利益	3,702	16,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,090	16,609
非支配株主に係る四半期包括利益	△388	△319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2016年6月1日開催の取締役会決議に基づき、2016年6月2日に自己株式9,013,000株の取得を行いました。この結果、自己株式が19,999百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が25,085百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	115,707	54,031	42,592	24,046	236,378	13,008	249,387	-	249,387
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	11,513	13	2,329	80	13,937	24	13,962	△13,962	-
計	127,221	54,045	44,922	24,127	250,316	13,033	263,349	△13,962	249,387
セグメント利益または損失 (△)	15,731	7,572	5,748	△523	28,529	1,190	29,720	-	29,720

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国・欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等

II 当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	112,712	56,173	41,710	20,236	230,832	13,903	244,736	-	244,736
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	11,428	12	2,534	133	14,108	30	14,139	△14,139	-
計	124,141	56,185	44,245	20,369	244,941	13,934	258,875	△14,139	244,736
セグメント利益または損失 (△)	16,924	8,829	4,940	△2,566	28,127	1,508	29,636	-	29,636

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国・欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ナミビア等

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間にU.S. Paint Corporationの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては4,593百万円であります。なお、当該金額は暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(東アフリカ Sadolin Groupの株式取得)

当社の連結子会社であるKansai Plascon Africa Limited (南アフリカ共和国)は、その100%子会社であるKansai Plascon East Africa Proprietary Limited (モーリシャス共和国、以下、KP East Africa)を通じ、東アフリカ地域において塗料事業を展開する企業体であるSadolin Group各社(以下、Sadolin Group)の株式を、以下のとおり株式取得することといたしました。

1. 株式取得の理由

当社は、現在推進中の中期経営計画において、グローバル化の加速を重点施策として掲げ、既存市場での事業拡大・強化に加え、新規市場・分野への参入を積極的に進めることとしております。

とりわけアフリカは人口増加に加え、経済成長に伴う一人当たり塗料使用量の増加などにより、中長期的に塗料需要の拡大が最も期待される市場であり、その中でも東アフリカは、成長性が高く規模拡大の期待が大きい重要な地域と位置づけております。

Sadolin Groupは、東アフリカ共同体の塗料市場においてトップシェアを有する優良な企業体であり、本株式取得は当社グループの東アフリカ市場での事業基盤をより強固なものにするとともに、アフリカ全体での更なる事業拡大・発展、ひいては当社グループの中長期的な業績拡大に大きく寄与するものと考えております。

2. Sadolin Groupの概要

(1) 会社名および所在地

Shalvik Investments Limited	ガンジー (英国王室属領)
Sadolin Paints (Uganda) Limited	ウガンダ共和国
Sadolin Paints (Tanzania) Limited	タンザニア連合共和国
Sadolin Paints (E.A.) Limited	ケニア共和国

(注) Shalvik Investments Limitedは、Sadolin Paints (Uganda) Limited及びSadolin Paints (Tanzania) Limitedの株式の、それぞれ85%、80%を保有する持株会社であります。

(2) 事業内容

建築用、工業用塗料などの製造・販売

(3) 直近業績

2015年度実績は以下の通りであります。

売上高	85.5百万米ドル (約96億円)
営業利益	13.7百万米ドル (約15億円)

3. 株式取得の内容

	Shalvik Investments Limited	Sadolin Paints (Uganda) Limited	Sadolin Paints (Tanzania) Limited	Sadolin Paints (E. A.) Limited
(1) 株式取得の相手先	個人株主	Jeanal Limited	個人株主	Pluto Holdings Limited及びその他株主
(2) 取得する株式の数	10株	75千株	10,000千株	4,250千株
(3) 取得価額	非公表(注1)	非公表(注1)	非公表(注1)	非公表(注1)
(4) 取得後の持分比率	100.0%	92.5%(注2、3)	90%(注2、3)	85%(注3)

- (注) 1. 取得価額につきましては、協議により非公表としております。  
 2. KP East Africa及び今回株式を取得するShalvik Investments Limitedを通じての保有であります。  
 3. 今回の株式取得の完了から2年以内に株式を追加取得し、Sadolin Group各社の持分比率は全て100%となる予定であります。

4. 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

5. 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得であります。

6. 支払資金の調達方法及び支払方法

自己資金により充当する予定としております。

7. 日程

- (1) 株式譲渡契約締結日 2017年2月7日(現地時間)  
 (2) 株式譲渡実行日 2017年4月末(予定)

8. 業績に与える影響について

本株式取得が、当社グループの連結業績に与える影響は軽微であります。